



# パンダそうめんに学ぶ！ 商品開発で大切なこと



**佐藤あすか** 徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小、零細企業者のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

**デザイナーと商品開発 やってみたい!**  
最新事例から学ぶパッケージデザインセミナー  
2022.8/2 13:30-15:00 受講無料  
とくしま企業振興機構研修室とZOOMを活用したオンライン方式のハイブリッド開催  
定員 研修室10名、オンライン20名

第一講「商品開発のデザイナーが抱える悩みと解決策」  
第二講「パッケージデザインで売れる商品を作る」  
第三講「パッケージデザインで売れる商品を作る」

主催：公益財団法人とくしま産業振興機構 共催：公益財団法人徳島県物産協会

## “ぜったい笑顔”から生まれた商品

これがパンダそうめんです(写真①)。あれこれと解説する前に、お客様視点でこの「パンダそうめん」と出会ってみることにしましょう。

ある日、みなさんは「パンダそうめん」に出会いました。え、何だろうこれは。黒いそうめんなんて面白そうだと思ってくださる方もいらっしゃるでしょうし、何だかちょっと怪しいなど考える方もいるかもしれません。実際に、徳島名物の「半田そうめん」に便乗して売ろうとしているのでは?という疑念を持った人もいると聞きました。みなさんは「面白そう」「怪しそう」どちらの感想を持たれましたか。

さて、一体どこの会社がつくったんだろう、と箱をひっくり返します(写真②)。

製造者は「有限会社白滝製麺」。住所は半田。あ、本意気の半田そうめんの会社がつくったんやな。販売者「株式会社ぜったいパンダ」。あー、なるほど。パンダやけん、白と黒でパンダそうめんなんか。ところで、黒いそうめんって何入れとんだろ。え、竹炭? 確かにパンダはいつも竹食べよるわ! これは面白い。ひとつ買ってみよう。

・・・と、あるお客様はお買い上げくださるかもしれません。が、「ぜったいパンダ」って何の会社なんだろうと思う人もいでしょう。調べてみると、なんと「ぜったいパンダ」さんはエクステリアの

会社。お庭のエキスパートであって食品とはまったく関係ない業種です。なぜエクステリアの会社がそうめんを? いや、そもそも「ぜったいパンダ」という社名の由来は?!

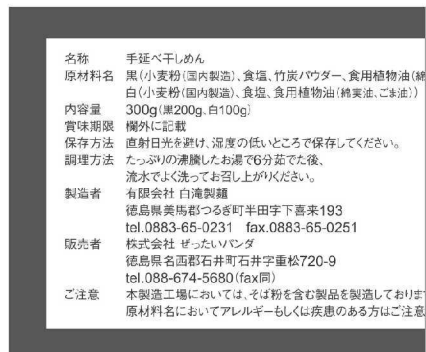
順番に参りましょう。まず、社名は、社長さんのお子さんが小さいころ「レッサーパンダ」を上手に発音できなくて、「ぜったいパンダ」と言っていたことに由来します。そのことがかわいくて微笑ましくて、家族のこういった幸せな時間をお庭を通じて一緒につくることができたら、という理由で社名にされたと言いました。パンダのロゴ(図①)は社長さん自らがIllustratorで描き起こした力作で、一見怖そうですが微笑んでいるのが特徴です。

そして、なぜエクステリアの会社がそうめんを発売したか、ということについて。発案当初はお庭を発注してくれたお客様へのノベルティとして考えていたのですが、色んな人にアイデアを話しているうちに「ほしい」「売ったらいいのに」という声をたくさんいただいたため、商品化に踏み切ったということでした。なぜそうめんか、ということに関してにも理由があり、庭で流しそうめんをして家族で笑ってほしいから、ということと、せっかくならば徳島の伝統的なおいしい半田そうめんの消費拡大にもつなげたいから、ということです。そして半田とパンダは似ている・・・これはいける。笑ってもらえる!

「株式会社ぜったいパンダ」さんの経営



写真①パンダそうめん



写真②パンダそうめん箱(裏・部分)



図①株式会社ぜったいパンダロゴ

理念は“ぜったい笑顔”。お客さまに笑顔になってもらうにはどうすればいいか、笑顔あふれる地域にするために何をしようかということを中心に考えている会社です。パンダそうめんはお客様に笑顔になっていただける商品としてつくられました。さらに、このパンダそうめん、“銀河—おいしい”そうめんづくりを真摯に行っている「有限会社白滝製麺」さんが製造されているだけあって、味や食感も最高なんですね。おいしさでも見た目でも話題が生まれ笑顔になれるというすばらしい商品となっています。

色んな経緯が明らかになると、「ちょっと怪しいな」と思っていた方も好意的な印象に変わったのではないかと思います。

ここで、すべてのことをつなぐのは、“ぜったい笑顔”という経営理念だということにお気づきいただけでしょうか。不思議な社名とエクステリア、パンダそうめんという商品。一見バラバラに存在していたものが理念によってつながったという体験をしていただけたのではないかと思います。実は、今日私がお伝えしたかったことがここに凝縮されています。

### 何よりも大切な根っこ

図②をご覧ください。これはブランディングとは何かということを一本の木にたとえて示した図になります。ブランディングとは、わかりやすい言葉で言うと「そ

の企業らしさや価値が見える化して、お客様とのすべての接点で一貫性を持たせること」です。2018年に経済産業省・特許庁が発表した“デザイン経営宣言”の中にも「顧客が企業と接点を持つあらゆる体験に、その価値や意志を徹底させ、それが一貫したメッセージとして伝わることで、他の企業では代替できないと顧客が思うブランド価値が生まれる。」という言葉が入っています。

出発点となるのは、経営理念、創業の精神、経験や技術など根っこの部分です。普段は見えないところにあるのですが、すべての始まりとなるとても大事なところですよ。ぜったいパンダさんの場合は“ぜったい笑顔”ということになります。

それが見える化したのが幹の部分。「CI」は「コーポレートアイデンティティ」の略で、ロゴマークやロゴタイプ、コンセプトなどがここにあたります。パンダのロゴマークはここですね。

そして、幹からつながった葉っぱの部分。商品やサービスだけでなく、スタッフの振る舞い方なども含めたお客様とのすべての接点ということになります。パッケージのデザインなどもお客様との接点のひとつ、と捉えて考えるわけですね。こうして見ていただくとわかるように、どの葉っぱもすべて根っこにつながっている必要があります。

パンダそうめんの開発理由を聞いた時、もしも「ただのチャレです」とか「儲けた

いと思って」などという言葉が返ってきたらどうでしょうか。ちょっと引いてしまいますし、少なくとも人に広めたいとは思いません。パンダそうめんには圧倒的情緒的価値をそなえた“ぜったい笑顔”という根っこがあるからこそ、受け入れられ、愛される商品に成長している、と私は分析しています。

### チームで根っこを共有する

お客様に根っこを正しく伝えるには、誰よりもまずデザイナーが根っこを理解している必要があります。デザインを依頼する際には、商品のスペック（機能的価値）に加えて、根っこ（情緒的価値）をしっかりと伝えてください。デザイナーをはじめ、チームで理念を共有し商品開発を進めることができれば、パッケージ、リーフレット、チラシ、WEBサイト、SNSなどお客様とのすべての接点で一貫したメッセージを発信することが可能となり、良い結果を得られるはずですよ。

徳島県よろず支援拠点では、「販売全力支援チーム」が商品開発から販路拡大までをトータルで支援しています。徳島の特産品を使った新商品をお考えの方、自社の商品やサービスの販路にお悩みの方、パッケージや広報のデザインを見直したい方など、ぜひご相談ください。目の前のお悩み解決に向けたアプローチはもちろん、長い目で見た展開と一緒に考えます。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

### 徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8  
徳島経済産業会館2階

よろずにゴー

電話088-676-4625

HP <https://yoro-zu-tokushima.go.jp/>

#### 受付時間

【平日】9:00～17:45  
【休日相談会】

●第2・第4日曜日

10:00～17:00

徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日

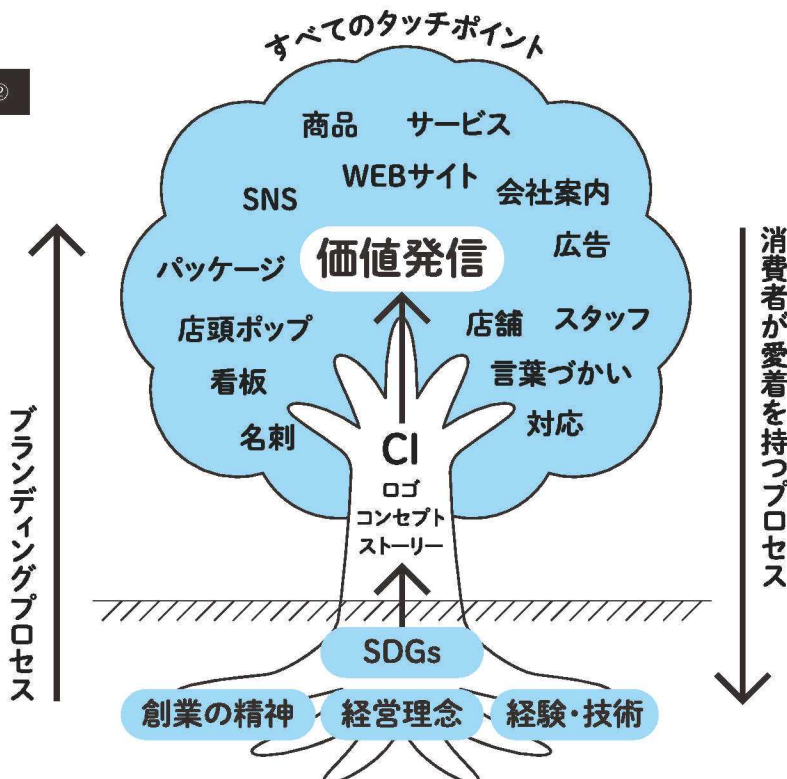
10:15～17:00

アミコビル9F



(最新情報を確認して下さい)

新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置しております。相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。



図②